令和６年度（2024年度）授業づくりレベルアップ研修講座（事後研修）

HOKKAIDO BOARD OF EDUCATION

【交流・協議】
本研修後の授業実践の共有と更なる授業改善に向けて

令和7年（2025年）２月７日（金）13:40～14:40

北海道立特別支援教育センター
研究員（知的障がい教育室） 荒　井　美　聡

【交流・協議】のねらい

　実践内容を振り返り、成果と課題を明らかにする。

　受講者同士で取組を共有し、更なる授業改善に生かす。

交流・協議の進め方

【交流・協議】の進め方について

○　説明（5分）

○　個人思考（5分）

授業改善の視点に基づいた授業実践の工夫（説明する内容の整理）

○　交流・協議（50分）

授業づくりの視点①

【視点１】育成を目指す資質・能力の明確化

- 単元（題材）の目標は設定しているか。取り扱う学習内容は、どの教科のどの内容か。
- 単元の評価規準を作成し、位置付けているか。
- 児童生徒の実態と評価規準を踏まえ、学習評価の３つの観点それぞれにおいて、児童が目標を達成した具体的な姿は、明確になっているか。
- 単元の目標を踏まえ、どの時間にどの目標に向けた指導を行うかが明確になっているか。
- 単元の評価規準を踏まえ、どの時間にどのような方法で評価を行うか。
- １単位時間で本時の目標を達成できるよう、導入・展開・終末をどのように考え、時間配分しているか。
- １単位時間において、本時の目標に正対した学習活動を位置付け、単元の評価規準との関連を図り、児童生徒の姿を見取っているか。

授業づくりの視点②

【視点2】内容や時間のまとまりを見通した単元（題材）のデザイン

- 単元の目標の達成に向け、児童生徒の主体的に学ぶ姿や対話的に学ぶ姿、深い学びの姿を、どのようにイメージしているか。
- 単元を通して、主体的に学習に取り組めるよう、自身の学びや変容を自覚できる場面をどこに（どのように）設定しているか。
- 単元を通して、対話によって自分の考えなどを広げたり深めたりする場面をどこに（どのように）設定しているか。
- 学びの深まりをつくりだすために、児童が考える場面と教師が教える場面をどこに（どのように）設定しているか。

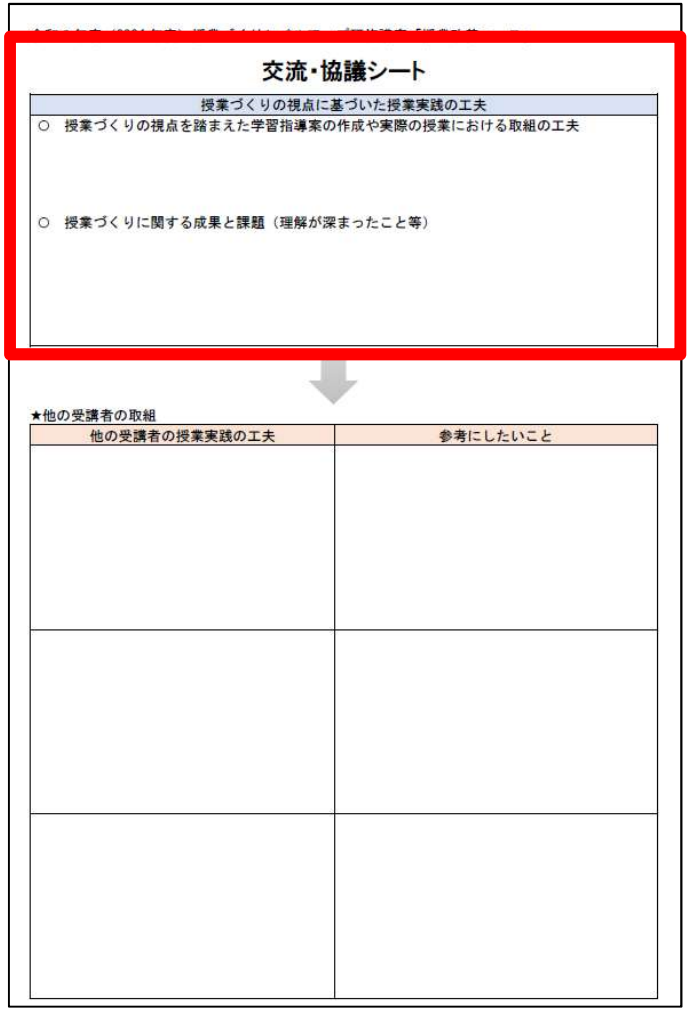
○　個人思考（5分）

授業づくりの視点に基づいた授業実践の工夫についてシートに記入し、説明する内容を整理する。

<u>個人思考（５分間）</u>

で記入します。

（説明する内容について、学習指導案に印を付けるなどでも可です。）



交流・協議シート

授業づくりの視点に基づいた授業実践の工夫
○　授業づくりの視点を踏まえた学習指導案の作成や実際の授業における取組の工夫 ○　授業づくりに関する成果と課題（理解が深まったこと等）

★他の受講者の取組

他の受講者の授業実践の工夫	参考にしたいこと

○　交流・協議（50分）

- 授業づくりの視点を基に実践した授業の説明をする。
- グループのメンバーは発表者の取組や、参考にしたいことについて適宜メモを取る。
- 質疑応答をする。

時間の目安

３人グループ（17分×２人）（16分×１人）

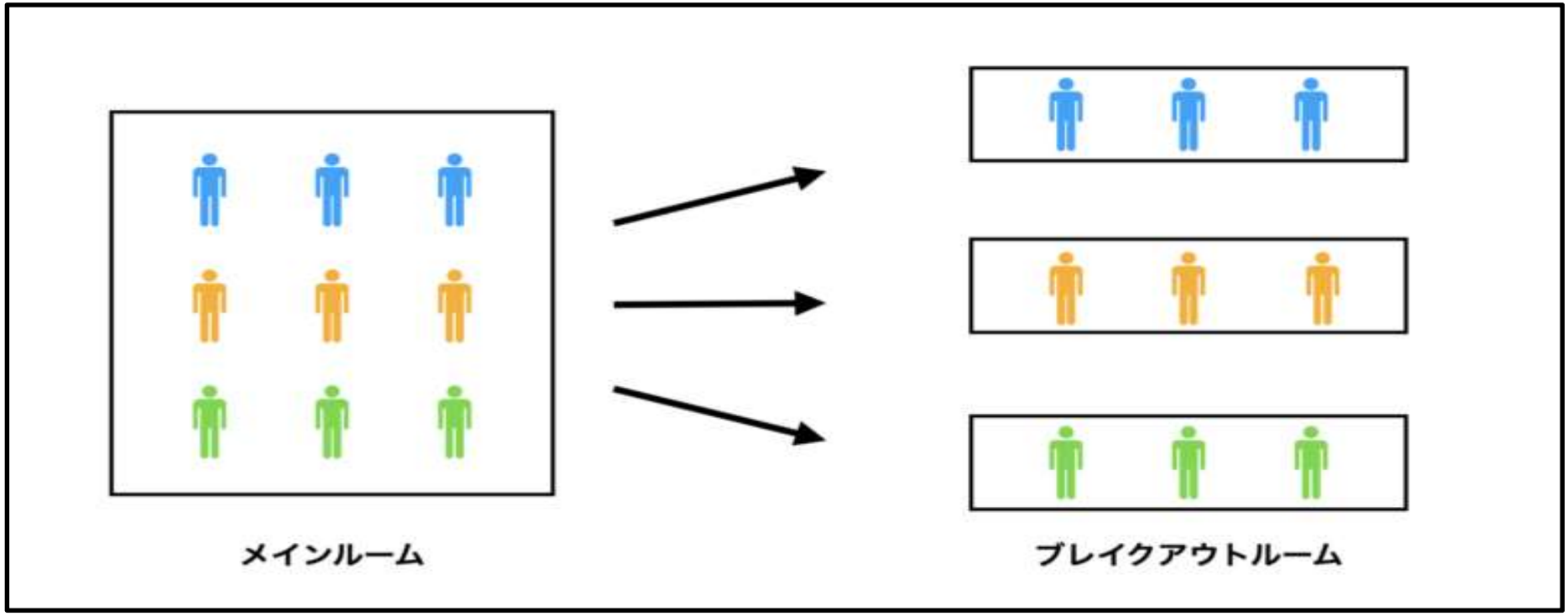
１人目	13：50	～	14：07
２人目	14：07	～	14：24
３人目	14：24	～	14：40

４名グループ（13分×２人）（12分×２人）

１人目	13：50	～	14：03
２人目	14：03	～	14：16
３人目	14：16	～	14：28
４人目	14：28	～	14：40

時間は目安です。グループ内で調整しながら進めてください。

ブレイクアウトルームについて



画面にこの表示が出たら【参加】を押してブレイクアウトルームに移動します。